

特定非営利活動法人

市民事務局



LET IT GROW

かわにし

~ News Letter Vol. 8 ~

2009.3.10

目次

- 「NPO展望」シリーズ1...2
- 20年度事業報告...3
- 4月の「つながりカフェ」ご案内
- ともし続ける灯りetc...4
- 会員募集のご案内、編集後記



2月1日から当法人 e-mail のアドレスが変わっています、お間違いなく！

旧 jimkawanishi@jttk.zaq.ne.jp



新 jim@jttk.zaq.ne.jp

「NPO展望」シリーズ



～ NPO の時代をほんものに～

近畿大学理工学部教授・NPO 法人市民事務局かわにし理事長 久 隆浩

昨秋から世界の経済は大きく変化している。奇しくもその時期がブッシュ大統領の就任末期であり、何か運命のようなものを感じる。そもそもサブプライムローン市場原理主義が生み出したもののひとつであり、それを推進してきたブッシュ大統領の引退と同時に経済破綻をきたしたというのは皮肉なものである。資本主義の限界はすでに 1929 年の世界大恐慌のときに気がついていたことであり、なぜ人間というのは同じ過ちを繰り返してしまうだろうか。二度あることは三度ある、とも言われるが、もう一度あってはならないと思う。そろそろ時代や社会を見直し、新しい社会を築く努力を押しすすめる必要があるだろう。

そこで登場したオバマ大統領であるが、Change の掛け声のもとに当選した彼が、実際にどのような方向で変革を進めてくれるのか、期待を込めて見守りたいものである。ご承知の方もおられると思うが、彼は、シカゴで Developing Communities Project に従事した経験を持ち、NPO によるコミュニティ開発にも造詣が深い。フランスの思想家 F.ガタリ(1991)は遺稿である「エコゾフィーの実践と主観的都市の復興」の中で、次のように述べている。「実際、生活を変え、新たな活動スタイルや新たな社会的価値をつくりだす手段は、もうわれわれの手に届くところにある。欠けているのはそうした変化を引き受けようという政治的な欲望と意志だけである。」つまり、時代を変える動きは市民側には活発になってきたが、これから大切なことは政治的にいかに新たな社会システムを構築できるか、であることの指摘である。

先ほど 1929 年の世界大恐慌の話をしたが、改めて歴史を振り返ってみると、1920 年代が現代とよく似ていることに気がつく。元号でいえば大正から昭和初期ということになるが、市民活動の活性化の側面から見てみると、「民本主義」や「大正ロマン」の時代であった。民主主義や文化が活性化していた時代である。また、平塚らいてうや市川房江らの女性解放運動、水平社による部落解放運動、そして、日本で最初の生活協同組合である神戸購買組合・灘購買組合(現・コープこうべ)が生まれたのもこの頃であった。さらに、社会事業もさかんで、隣保館の建設も各地で行われた。

大阪市では関一市長の時代であり、大阪市には社会部という部署が設けられていた。関市長の業績としては御堂筋の建設がもっとも有名であるが、彼は社会事業の推進にも積極的であり、そのことが市民の評価を高め、彼の市葬には 8 万人もの市民が集まったといわれている。ちなみに、彼は当時すでに地下鉄の終点を江坂と決めていた。実際に江坂駅まで延伸されるのは昭和 45 年のことであるが、昭和初期にグリーンベルト構想を打ち立て、ロンドンのように大阪市を緑地帯で囲むことによって市街地の拡大を防ごうとしていたのである。残念ながらこのグリーンベルトは実現しなかったが、その名残が服部緑地、鶴見緑地、久宝寺緑地、大泉緑地である。これらをむすぶと今の大阪中央環状線となり、ここにグリーンベルトが建設される予定であったことがわかる。こうした状況が理解できると、江坂駅が北のターミナルとして構想されていた意味がわかる。

さて話をもとに戻そう。社会は変革を求めている。それをどれだけの市民が理解し、そして、どのような未来を築いていけるのか、がここ数年の動きではたいへん重要だと思う。グローバルな経済に振り回されない地域における互助社会を確固たるものにできるのか、それとも、またバブルの幻想を追い求めるのか、私たち一人ひとりに問いかけられているのではないだろうか。前者、つまり、地域における支えあいを基礎とした社会を構築していくことが大切であり、その核のひとつが「市民事務局かわにし」だと思っている。みなさんと協力しながら、いい未来、夢のある未来を実現したいものである。



20年度の事業報告

(途中経過分もあり)

川西市市民活動推進事業(市委託)

- ・【市民活動サポート相談】(毎火曜日13:00-17:00)
- ・市民活動支援講座(川西市市民活動センターと共催)
「ネットで発信しようグループ情報!」(12/3)
「思わず手に取るチラシづくり講座」(3/6、13)
- ・交流会「NPO法人ネットワーク交流会」開催(12/16)
- ・情報紙「せーの!」発行(3/12)
- ・市民活動センターへの情報提供(随時)

川西市「まちづくり景観ワークショップ」(市助成)

- ・全4回開催(11/8、11/29、12/13、12/20)
- ・川西市まちづくり支援助成を受けての4年目は、「景観」にポイントに絞って実施
- ・宝塚造形大学「李映一ゼミ」の学生さんにも協力いただき、「多田地区まち歩きマップ」を制作中
今後、能勢電鉄とも連携・協働事業化予定!
- ・また、別グループでは「久代」地域でのまち歩きを計画中とか...?! 自立的な活動が拡大中!

行政・NPO協働事業助成/2年次事業

(ひょうごボランティア基金)



- ・川西市域～阪神北エリアのさまざまなNPOや市民活動団体の情報集約と発信ツールの整備事業
- ・2年次の今年度は「紙ベース」の総合名簿作成準備と、「ウェブベース」のブログ地域ポータル制作・ブログ講座開催などが主軸
- ・市域の活動活性や協働事業実施に役立てば!

中間支援活動助成事業(ひょうごボランティア基金)

- ・【ベーシック】中間支援NPO法人の機能強化と、個々のNPO法人の中長期計画策定支援として、市内のNPO法人数団体に経営診断と具体的な運営指導
- ・【スペシャル】アート系専門学校OCAとのコラボ事業で、市内の作業所の販路拡大を支援



200年住まい・まちづくり担い手事業

(財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団・財団法人住宅生産振興財団)

- ・今年度からの新規事業。ニュータウン開発で発展してきた川西市が、高齢化社会を迎えて今後どのような施策を考えるか...。アドボカシー事業
- ・各セクターの専門家で成る全国初の「コンソーシアム連絡会」を組織し、今年度は「住み替え」にポイントを置いた活性化策を住民視点やニーズを汲みながら検討
- ・連続セミナー「シニア世代の住まい方を考える!」開催(全3回)
- ・シニア世代の住まい方、住み替え、ニュータウンの空き家・空地に関するアンケート調査実施

自主事業として...

- ・【市民活動サポート相談】(NPO立上げ・運営支援・各種コーディネートなど)実施
- ・市民活動支援パソコン講座開催(3回/講座×8回)
- ・市民活動センターや社会福祉協議会との共催でブログ講座を協働実施(1回+6回)
- ・大人の井戸端会議(交流の場)「つながりカフェ」(毎月第3木曜日18:30-20:30)開催
- ・その他各種事業を実施中
- 「市民参加条例(仮称)」策定を目した川西市「協働のまちづくりワークショップ」(全8回)に当法人から実質2名参加。ワークショップ内で提言活動



事務局長から ~ HARUの風(1) ~

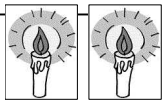
法人になってほぼ4年が経ちます。立上げ3日後に起こった「JR福知山線事故」は私たちの運命を大きく変えました。せっかくNPO法人を立ち上げたけれど、辞めてしまいたいほどの日々が何度もありました。でも、ようやく「中間支援」の存在や意義が認知されるようになってきたと実感しています。現場各所のみなさんとの「つながり」が支えです。5年目もどうかよろしくお願いたします。

4月のつながりカフェは25日(土)です!

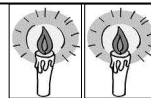
毎月第 木曜日(18:30~20:30)に「大人の井戸端会議」のような、テーマなしの交流の場を持っていますが、毎年4月度は、2005年4月25日にこの沿線を巻き込んで起こったJR福知山線事故を忘れない意味で25日に実施します。みなさん、お友達とご一緒にお越しください。お待ちしております。

場所:川西市市民活動センター 参加費:200円

詳細はお問合せください。 072-774-7333「NPO法人市民事務局かわにし」



“ともし続ける灯り”



2005年4月25日のJR福知山線列車事故で被害に遭われたみなさまの「ともしび」となるよう、支援活動に取り組んでいます。

●【情報相談】

- ・月曜日～土曜日(日・祝を除く)午前10時～午後5時
- ・専門家(臨床心理士や弁護士など)や、専門機関へもおつなぎします。

●【語りあい、分かちあいのつどい】

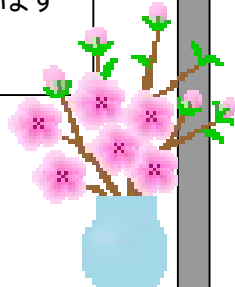
- ・被害者やそのご家族などの横のつながり、支えあいのための「つどい」の「場」をもっています
- ・専門家(臨床心理士や弁護士など)への相談もできます。
- ・アロマセラピストの方々がボランティアでハンドマッサージをしに来てくださっています。

・第42回「つどい」 4/4(土)14:00-16:00

・第43回「つどい」 5/2(土)14:00-16:00

原則毎月第1土曜日午後開催

場所は「川西市市民活動センター(パレットかわにし)」



「特定非営利活動法人 市民事務局かわにし」 正会員 / 賛助会員募集のご案内

- ❖ 特定非営利活動(NPO)法人市民事務局かわにちは、皆さまの会費に支えられながら活動を展開しております。ご協力いただきました会費は、当法人の事務局運営や地域を中心とする社会貢献活動の一助となり、「公」の動きとして還元してまいります。
- ❖ JR福知山線列車事故につきましても、この沿線の中継地域として、被害者の皆さまの相談窓口となって、長期にわたり支援活動をしていく所存です。
- ❖ これからの新しい「公」を担っていこうとしている市民事務局かわにしを、どうか皆さまの温かな「心の投票」で支えていただきたく、よろしく願い申し上げます。

「会員」(正会員 / 賛助会員)と「年会費」についてご案内

会員種別	個人	団体(企業)	団体(非企業)
正会員	5,000円	10,000円	5,000円
賛助会員	3,000円	5,000円	3,000円

- 1 会員期間:4月1日～翌年3月31日
- 2 会員の皆さまには、随時、市民事務局かわにしの活動状況や、講座案内など有用な情報をお届けします。
- 3 正会員には、総会での議決権があります。
- 4 非企業とは、NPO法人など非営利団体を意味します。
- 5 一旦お納めいただいた会費は返金できませんことをご了承下さい。

納入方法については、お手間をおかけしますが、下記へお願いいたします。

【郵便振替口座】: 特定非営利活動法人市民事務局かわにし 【口座番号】: 00950-6-297192

詳細につきましては遠慮なくお尋ねください。特定非営利活動法人市民事務局かわにし

tel/072-774-7333 fax/072-774-7334

【正会員】

東孝司、網野亜紀子、尾崎健二、喜田和代、小西佑佳子、駒井守、小柳敦子、小柳繁清、佐々木清二、佐野恵美子、嶋崎真二、関雅郎、高見実千代、道幸奈津子、豊原伸一、中川幾郎、久隆浩、三井ハルコ、山下淳、横島毅、横田信之、吉岡行廣、NPO法人川西再発見、NPO法人みち、NPO法人宝塚NPOセンター、NPO法人ピース・ゲーム、有藤浩

【賛助会員】

岩切幸子、植杉軍一、植田るり子、梅澤信久、勝田民子、鎌田満子、木原恵美子、久保恵子、栗岡多恵子、駒井澄子、阪本富士治、武居玲子、谷 清、田村幹夫、中元一哉、西田尚子、西丸きぬ子、畑尾卓郎、弘世伸子、藤原嘉之、堀口節子、前田 輝、宮坂満貴子、向井陽子、柳田きぬ、山本光男、正木みつ子、NPO法人関西イー・エルダー、川西久代郵便局情報紙「ぜんざい」、ジョイン川西、い～お仕事・協和工業

(敬称略、五十音順 3/6 現在)

編集・発行: NPO法人市民事務局かわにし
 〒666-0015 川西市小花1-8-1-104 ジョイン川西
 tel:072-774-7333 fax:072-774-7334
 pc-mail: jim@jttk.zaq.ne.jp
 hp url: http://www.npojmkawanishi.org/
 blog url: http://www.voluntary.jp/jkawanishi/

編集後記

一月は行く、二月は逃げる、三月は去るといいですが、もう三月になってしまいました。いよいよ、今年度も決算期に入り各NPO団体も事業報告や会計の締めなど、資料作成にてんやわんやではないでしょうか。実施事業が一つずつ終わるたびに、「あ～、無事終了!」とホッと心うちで独り言が出ます。助成金事業では、この後の報告書作成などでまたまた悩まされることに・・・。

来年度の事業計画や予算立てもしなければと、やはり焦りが生じているかも。

とかく、この3月は忙しい、体調に気をつけて乗り切りましょう。春はすぐそこに!